

おだわら
城町アート
プロジェクト
歴史的建造物
活用事業

まち
小路を歩く
アートを歩く

旧瀬戸たばこ店 × 現代アート&クラフト展「出会いの間、賑わいの間」
平成29年2月11日(土)、12日(日)、16日(木)、17日(金)、18日(土)、19日(日)
10:00～16:00 (19日は15:00まで)

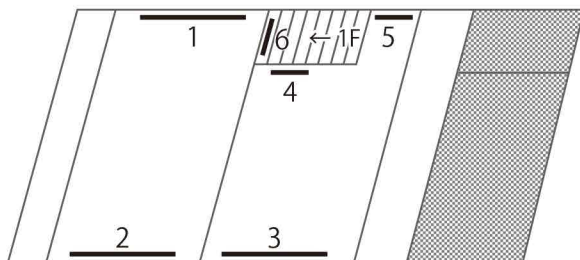
主催：おだわら文化事業実行委員会（小田原市／一般財団法人小田原市事業協会）



旧瀬戸たばこ店 × 現代アート&クラフト展 出会いの間、賑わいの間

2階

心景 — SCENERY OF HEART —



- 1 心景 / 1235 x 2460mm / 墨、宣紙 / 2016 年
- 2 心景 / 1235 x 2460mm / 墨、宣紙 / 2016 年
- 3 心景 / 1235 x 2460mm / 墨、宣紙 / 2016 年
- 4 心景 / 344 x 243mm / 墨、宣紙 / 2016 年
- 5 心景 / 344 x 243mm / 墨、宣紙 / 2016 年
- 6 心景 / 344 x 243mm / 墨、宣紙 / 2017 年



藤井 健司 Kenji Fujii

現代美術作家

1981 年東京生まれ、横浜育ち
現在、カナダ、韓国、横浜を
拠点に創作活動を行っている。

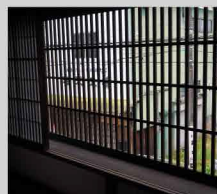
旧瀬戸たばこ店

1928 年（昭和 3 年）築・木造 2 階建て

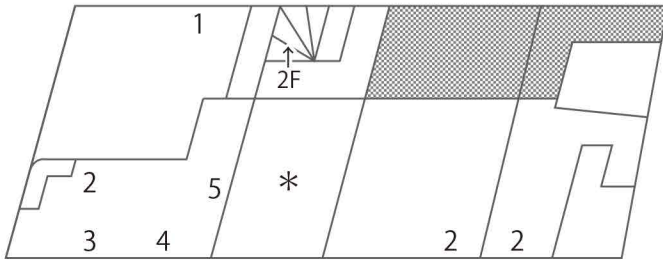
米、油、肥料、煙草を販売していた米穀商（瀬戸米穀店）の商家。引き戸や窓、欄間の格子、幅広い天井板や廊下の床、神棚や鴨居の彫刻など、当時の町家建築の素材と技術をふんだんに利用して建てられたのが窺える。昔の小田原は、このような建物が並ぶ街並みだったという。表に面したガラス戸やタイル貼りのガラスケースはたばこ屋の面影を残している。



建物西側外壁は歴史的建造物などの修復に必要な伝統工法の知識と技術を持つ職人を育成することを目的に、小田原大工職組合や南足柄大工職組合らの指導のもと、県立城北工業高校の生徒たちによる改修の研修が行なわれた。平成 27 年秋ごろまで店舗として使用され、以後は空き家となっている。



1 階



1 gunung 2 赤猫工房 3 k.m. 4 ハギレ小物屋 5 おお麻飾り 志音
*お休み処（お茶を飲みながらおくつろぎください。）



グノーン gunung（リサイクル雑貨・布小物）

自転車のタイヤチューブや廃部品、建築廃材などを素材として
見直し、日々 upcycle なものづくりを目指して制作活動しています。



赤猫工房（ハンコ、小物、着物の着付け体験）

絵描き、イラストレーター、着物のコーディネーター着付けの
先生、赤猫食堂、幼児向けのアートクラスの講師などをやってます。
手作りハンコを作り、ハンコのワークショップなどもやります。



ケーエム k.m.（焼成粘土作品）

焼成粘土で作製した作品。花、しずく、ちょうちょ、葉、等の自然
をモチーフとしたもの。その時々で頭に浮かんだデザインで自由に
色を楽しみながら、作品作りをしています。



ハギレ小物屋（布小物）

まだ活動歴1年ほどです。無趣味から始めたので、日々格闘中です！
布小物制作とミニチュアワーク（たまにお店で販売していただい
ます）をやっています。



おお麻飾り 志音（精麻を使用した飾り）

古より祓い清めのツールとして神事で使われ、神社のしめ縄などの
御飾りに使われている精麻（せいま）を使い、祓い清めのパワーを
秘めたおお麻の一番大切な部位を使って作品づくりをしています。